

# まつのみ

第 34 号 平成 29 年 11 月 1 日  
発行元 社会福祉法人まつのみ福祉会  
発行人 郷渡 茂治  
〒580 - 0023  
大阪府松原市南新町 1-10-2  
TEL072-336-3233 FAX072-334-6466  
<http://www.matsunomi.com>

「65才問題」ご存知ですか

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス(生活介護事業・移動支援・同行援護・重度訪問介護)のサービスを受けていた障がいのある方(利用者)が、65才になると介護保険給付の対象年齢なつたという理由で、介護保険制度に切り替えてしまうとそれまで利用していたサービスが使えなくなるという事態が生じています。

例えば、重度の障がいのある方のための見守りを含めた重度訪問介護は介護保険にはありません。

趣味や余暇を過ごすために出かける際の移動支援(ガイドヘルパー)や、たとえ働きたい・社会参加したいと思っても、それを支援する制度は介護保険制度にはないのです。

さらに、介護保険のサービスを利用すると利用者の自己負担が生じてきます。

障がいのある方にとつて、サービスと言っても、例えば入浴やトイレの介護、出かけるための同行援護、車いすや介護ベッドの利用などまさに「生きるため」の支援です。

また、ほかの人と一緒に楽しみ・仕事をする事は「健康で文化的な生活」のために必要な事です。贅沢でも何でもありません。ごく普通の生活です。

障がいが増ければ重いほど、たくさんさんの支援が必要なのに、重ければ重いほどたくさんのお金を支払わないといけなくなるのです。

それっておかしくないですか？



ある知的障がいのある女性(67才)が障がいサービスから介護保険サービスに移行し「要支援1」の判定を受け、13年間利用していた生活介護事業所から、市内の高齢者デイサービス事業所に移る事となつた。

ただ、通所日数は、週5日から3日に減少。利用日数が減らされた。

いままで彼女は、日常のサポートを受けるだけでなく、軽作業に取組み、働く喜び、生きがいを感じていたのに、現在はカラオケ、余暇活動がほとんど。

障がい福祉サービスを受けてきた利用者が、介護保険サービスに移行したとき、障がい者と高齢者の支援内容を踏まえ、サービスの質・量の確保に充分考える必要があるのに。

これっておかしくないですか？

(萩原)

ジリジリと目覚し時計の音がいつもより一時間早く鳴り出す。

そう、今日は生活班の旅行である。外はあいにくの雨、眠さと合わせ、雲がかかったようであった私の心であるが、晴れ渡った仲間たちの心に、そんな雲は吹き飛ばされた。

まずは明太子パーク。加工場の見学や明太子の親であるタラの生態など、興味深く見ることができた。お土産も当然明太子がらみで、お菓子はもとよりソフトクリームであった。甘いのか辛いのか、ソフトクリーム。明太子は試食もできたのであるが、辛さに悶えている私を横目に仲間たちはおいしそうに口にしていた。

続いて動物王国にて昼食をとったあと、そのままいろい로운動物とふれあっていたのであるが、噛まれそうになつてビビったのは内緒である。

ふれあいを堪能し、ホテルへ。温泉から宴会への流れで否応なく気分も盛り上がり、食べて歌って踊った。疲れは癒すものではなく忘れるものである。

翌朝、夕べは気づかなかつた目の前に広がる砂浜オーシヤンビュー。この季節なら、鱈(キス)や鮪(コチ)がうまいだらうつ、などと考えていたら、鮭(サケ)が朝食にでてきた。

本日は須磨水へ。淡水魚好きの私には聖地でもある。ああ、アフゾン。もちろん定番のイルカショーもあり、仲間たちも存分に楽しんでいた。

なぜか気づくと次のカワサキワールドに居た。何を隠そう、私はバイクも大好物である。

興奮冷めやらぬ仲間たちと私であったが、旅も終わりを迎え日常へ。今日も良い余韻を残しながら、仲間たちと仕事をしています。

マッハで B 型



B型でぎょざいます

さよけ



B型じゃよ

# 今回の旅行は 日帰り旅行の班も取り入れたので 盛りだくさんになっちゃいました



分場  
にござ  
るで

今年の一泊旅行は滋賀・京都方面へ。

まずは『かわらミュージアム』で瓦作り。瓦に限らず、置物やコップにお皿など、専用の型を使ったり自由に作り上げたり。何を作ろうか悩む人、すぐさま創りはじめる人、ある粘土すべてで大作を作る人、小さいものをたくさん作る人。それぞれの性格をあらわした、個性の光る作品が出来上がりました。

お次は、ひこにゃんでおなじみ『彦根城』。下から見上げると情緒ある石段も、実際に登り始めるとこれがたいへん。お互い励ましあいながらたどり着いた天守閣からの景色に、みんな感動していました。とうぜん彦根城の本丸である『ひこにゃん』を目に収めておいたのは言うまでもありません。「ひこにゃんかわいいよひこにゃん」

翌日は琵琶湖で『ミシガン』からの『京都鉄道博物館』という乗り物シリーズ。鉄道博物館はみなさんからの希望も多く、念願が叶ったといったところです。あんな新幹線やこんな新幹線やそんな電車などを見て回り、大迫力のSLにも乗車しました。汽笛とともに出てくる前が見えないほどの蒸気につつまれると、みんなの大歓声にもつつまれました。

生活介護事業だ

出発早々にぎやかな車内はテンションマックスであつという間に伊丹スカイパークに到着です。間近でみる飛行機は爆音を響かせながら離着陸。しかし、みなさん驚く様子もなく、向けるカメラに誰も視線をくれずに飛行機をガン見していました。

興奮冷めやらぬまま昼食はホテルのビュッフェ。好きなものをおなかいっぱい食べました。

その後の二フレルでは魚や動物を間近でみて、知っている動物がいると名前を叫んでいました。動物たちも人間になれているようでホワイトタイガーはカメラを向けられるとポーズを決めてくれました。

おみやげも好きなものを選びたのしくお買い物できました。ゆったりとした行程だったので各場所を満喫する事ができました。

就労継続B型班は、愛知方面ではなく名古屋方面への旅行です。

初日はできたばかりの『レゴランド』ですが、雨おとこが旅行担当になったせいかあいにくの雨。にくわえて、なかなか滞りなくすすまないこともありました。だがしかし、みなさんはそんな事はお構いなし！とばかりにジェットコースターに乗り倒す方や、雨の中ぐるぐる回りながら上空へ上っていく方など、それぞれ楽しんでおられました。

翌日は、水族館と鉄道館の選択コース。水族館はおいしそうな魚やイルカショーを觀賞し、リニア鉄道博物館は客車でくつろいだり運転をしたりと自分の選んだコースを満喫されていました。

仲間たちの楽しむチカラと、職員の楽しんでもらいたいという想いを、私も旅行を楽しみながら強く感じました。



B型 うちこ

生活介護班の第一弾！ちょっと甘く見ていたインスタントラーメン館。

『うわぁ!!人がいっぱいいる～(汗)』

大繁盛のなか、自作ラーメンのカップ片手に好きな具材えらびに真剣に悩み…世界でひとつだけのカップラーメンをおみやげに持って帰りました。

続いては、動物王国。あまり興味のない方もいてましたが…(笑)

おいしいお昼ごはんとともにゆっくり散策できました。須磨水族園でのイルカショーにはみんなで大興奮!! メリケンパーク、川崎ワールドでは、さらに班ごとに別れ自由行動!

あれをした…これを見た…も、いい思い出になるけど、二日とも時間に余裕があったので、ゆったりと行きたいところで好きなことをしている利用者さんの姿や、普段見られない様子などたくさん見る事ができました。



セイカツ ヒアウゴ!!

工房まつのみ

早いものでまもなく年の瀬がやってきます。クリスマスや大掃除や新年の準備など。いろいろ待ちかまえておりますが、まずはカレンダーのご準備をどうぞ。干支の戌を思い切りあしらったカレンダーです。

これがあれば一年間は大丈夫です。それと合わせて



香り袋

『香り袋』もいかがでしょうか。おだやかで上品な香りとともに、行く年を見送りましょう。

- 香り袋 ニヶ入 100円
- カレンダー 一枚 800円



連載!

Y・Tさん (54歳)

今までで困ったこと

・電車が事故で止まって

駅で待たされたこと

好きな食べ物

・お米

好きなこと

・お米をおなかいっぱい食べる

・発表会でうたう事

心がけていること

・よく噛んで食べる

将来の夢

・無料歌手



《世話人さん募集》

現在は19歳〜70代の方まで様々な年代の方が世話人さんとして活躍していただいています。

ご興味のある方はぜひご連絡ください。

地域生活支援センター かーさ

072-3336-3355



～『ヘルプマーク』をご存知ですか～

ヘルプマークとは、援助や配慮を必要としている方々が、周囲に配慮を必要としている事を知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。ヘルプマークは東京都が作成し、全国に普及が進んでおり、大阪府では平成29年6月より大阪府及び市区町村で配布を開始しています。

このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、困っている様子であれば声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。



例えば・・・  
義足や人工関節を使用している方  
内部障害や難病の方  
妊娠初期の方など

